

講義名	観光社会学		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	濱田 武士		
開講期・曜日・時限	後期 金曜日 5時限	授業形態	
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

**主題と概要**

観光は、人びとが日常生活を送る場所から一時的に離れて、余暇を過ごす行為です。しかし、現代では、観光は個人が余暇を過ごすためのひとつとしてだけでなく、様々な側面を持つ現象といえます。観光は、まず、観光産業や観光開発を伴う経済現象です。国土交通省は、2003年度から「ビジット・ジャパン・キャンペーン」を実施し、諸外国での広報、国内での外国人旅行者に向けたインフラ整備を行っています。また、自治体をはじめとした様々なアクターが、地域の活性化のために、新たな観光資源を開発する試みを行っています。こうしたなかで、地域自体が変容し、観光を通じた新たな消費やライフスタイルが生まれています。このように、観光は、経済、政治、文化といったさまざまな側面をあわせもつ社会現象といえます。この意味で、観光はすぐれて社会的なテーマなのです。この講義では、観光に対してどのような社会的なアプローチができるのかを検討していきます。

**到達目標**

- ・社会学の観点から観光について考えることができるようになる。
- ・講義の内容を踏まえて、観光に関する様々な現象や事例を取り上げて分析することができるようになる。

**提出課題**

講義内容の理解を深めるために、僕からみなさんに各回の内容に関連したテーマを提示するので、みなさんには250字程度でまとめる「ワークシート」を作成してもらいます。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック**

毎回、講義の最後に、みなさんには講義内容について質問や意見等をかんとんに書いてもらいます。つぎの授業の冒頭で僕が質問への回答や解説、意見等へのコメントをします。

**評価の基準**

平常点（ワークシート）、筆記試験により総合的に評価します。  
 ・ワークシート 50%  
 ・筆記試験 50%  
 なお、履修者数によって、評価の基準を修正する場合があります。

**履修にあたっての注意・助言他**

特にありません。

<b>教科書</b>
・使用しません。

**プリント資料及び参考文献**

担当者作成のプリントを配布します。参考文献については適宜指示します。

**授業計画**

1. ガイダンスとイントロダクションー観光社会学とは
2. 観光と他者
3. 観光とグローバルゼーション
4. 巡礼行動
5. 真正性
6. スープニール論
7. 観光のまなざし
8. 観光開発
9. エコツーリズム
10. 景観
11. 文化遺産
12. ポストコロニアル文化
13. 観光の視覚化
14. 空間の商品化
15. まとめ

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

**準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

予習は特に課しませんが、ワークシートの課題を作成するために毎回の講義内容を復習する必要があります。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

**実務経験の有無及び活用**

**備考**